

2024 年度（令和 6 年度）事業方針 及び 計画

（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

認定特定非営利活動法人こまちぷらす

I 事業の活動方針

産前産後直後に情報とまちからのウェルカムを届ける「ウェルカムベビープロジェクト」、産後のおしゃべり会や立ち寄れるカフェの場、昨年度立ち上げた terabaru/お惣菜保育園コラボ事業等働く世帯へのアウトリーチの事業、障害/不登校ひきこもり等学齢期に向けての親がほっとできる場、ただい間のおうち等学齢期の居場所等、産前からいろんなステージでつながっていく場の整備を進めてきた。小学校から高校まで様々な学校との連携や商店会の皆さんとの連携も増えてきた。2024 年度は、そうした連携を意識しながら「対話と出番」づくりを日々実施し、全国各地のカフェ型居場所づくりの展開に力を入れていく。具体的に以下 3 点に注力する。

1 点目に、こまちパートナーの方をはじめとしたさまざまな方とともに、こまちカフェやこよりどうカフェにてあたたかい居場所を日々作り続ける。こよりどうカフェにおいては働いている方や地域の方にお惣菜をお届けする事業（アウトリーチ）や terabaru（夜の居場所づくり）や LINE を通した情報発信など新規取り組みの定着を目指し、こまちカフェにおいてはこまちパートナーの皆さんとともに新たな体制をもとにした居場所づくりを再構築する。各事業の連携を意識し、産前から産後・復帰前から復帰後、といったライフステージの変化があっても孤立しない事業づくりを実施する。

2 点目に、ワークシェアをしている組織ならではのマネジメントの難しさを踏まえ、NPO の事務体制/働き方の整備にもチャレンジする。各部署で日々の業務フローや情報共有在り方を見直し、最新の IT システムや AI も活用しながら業務効率化を目指し、人と人でしかできないことにフォーカスをしていきます。どのような家族のケアやチャレンジがあっても、こうした NPO の場で「働く」ということが多くの人にとっての選択肢となれるよう本格チャレンジのスタートの年にする。

3 点目に、長野県をはじめ各地域でのカフェ型の居場所づくりにチャレンジをしたい人に向けたプログラムを各地域の団体とのパートナーシップをもとに実施する。また、2023 年度に実施した岡山での「心地よい関りが生まれるカフェ」のプログラムの事後調査も研究者とともにに行い、カフェ型居場所を立ち上げるハードルや地域における必要なサポートについて明らかにする。オンラインでも学び合いが続くようなコミュニティをつくり、全国各地においてカフェ型居場所が立ち上げやすい学び合い環境整備を目指す。

<事業内容>

I 子育て情報の提供

1. 地域子育てカレンダー事業

- ・内容：【概要】地域の子育て情報を、地域子育て支援拠点との連携により収集し、ネット上に毎月 100～200 件ほどデータベース化しネット検索できるよう掲載。地域別、テーマ別、キーワード毎に検索ができるようになっている。自宅からなかなか出られない出産直後や転入など、地域情報にたどりつき辛い子育て当事者に向けて、地域の施設が発行しているチラシ情報をネット上で検索できる状態にすることで、孤立の解消につなげることが狙い。拠点運営法人より受託、実施。

【2024 年度の取り組み】2024 年度も、これまで通りチラシを web から閲覧できるように内容を逐次入力することを継続。「情報入手」と「情報公開」までのタイムラグの削減工夫の 1 つとして、引き続き情報公開時の最終チェック担当業務が可能な人材育成を行っていく。そして、正確な情報掲載ができる工夫を継続しつつ、お互いに円滑な連携が図れるようにしていく。また、求めている情報がすぐに検索できるよう、検索ワードの入力の工夫、カテゴリ分けの項目の追加などを検討していきたい。また、閲覧者が読みやすいような入力を目指したり作業を通して気づいたことをチーム内で共有したりして、改善点の提案を継続

していく。同時に、地域こそだてカレンダーに関わっているメンバー 1 人 1 人が無理なく継続して関わられるようにチーム内で相談や意見交換がしやすい環境やメンバー同士が顔を合わせる機会を定期的に設けられるようにしていきたい。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区内
- ・従事者人員：9 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 15,000 名程度
- ・支出額：232,700 円

2. とつかの子育て応援ルームとことこ 情報スペース運営事業

- ・内容：【概要】年間約 1 万人以上が来場する、戸塚区役所内にある子育て情報発信及び託児機能をもつ施設において、情報発信スペースの運営を拠点運営法人より受託、実施。1 人の情報コンシェルジュが常駐し、月間 100 件ほどの相談を傾聴、区役所の窓口含め必要な支援や情報に案内している。ベビーカーレンタルや体重計の貸し出し等も実施している。

【2024 年度取り組み】2024 年度も引き続き気軽に立ち寄れる場所として、区や地域子育て支援拠点としての芽と連携しながらとことこの周知に努める。今年度は地域資源の取材と情報発信に加え、親御さんの育休復帰が 0 歳時に始まることから、とことこに足を運ばれる限られた時間に育休復帰後も親子で参加できるイベント情報に触れられるよう掲示や情報提供の仕方を工夫していく。また、昨年度、育休復帰後の日常生活のイメージがつかないとの声が来所者から多く聴かれたことから、今年度は育休復帰後のタイムスケジュール例の掲示にむけ、来所者にアンケートをとり準備をすすめていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 16-17
- ・従事者人員：5 名
- ・受益対象者：区内外の親子中心に、のべ 10,000 名程度
- ・支出：2,002,471 円

II. 子育てをしている人、子ども、地域の人が思いを言語化し、つながりをサポートする場づくり

1. こまちカフェ

- ・内容：【概要】日祝日を除く毎日（月曜日～土曜日）戸塚駅から徒歩 7 分のところで「こまちカフェ」という居場所を運営。飲食の提供、雑貨の販売、イベント企画を通して子育て中の母親のリフレッシュや外出動機の創出、仲間づくりのきっかけや気持ちを言語化できる機会づくり、新たな情報や視点との出会いの場をつくっている。当事者や支援者・企業・行政等様々な主体の人の「ニーズ」や「できること」が集まり、コーディネートしながら活気のある場をつくっている。この部門では主に、飲食の提供を通じた豊かな居場所づくりをしている。

【2024 年度取り組み】引き続き、子育て世代の方や、地域の方の居場所となるよう努める。今年度はより地域のかたが気軽に参加できる機会を作り、こまちパートナーの方の関わりも増やしていく。具体的には、イベントの手伝いや日々のカフェのランチタイムなどの関わりを工夫し、参加しやすい仕組みづくりを行う。こまちパートナーの方の「やりたい」や「得意なこと」を活かせる場としての機能も充実させていきたい。また、全国からの「居場所を増やしたい」という方の視察対応も引き続き行う。加えて、他地域でも「こまちカフェ」「こよりどうカフェ」のような場所が作りやすいよう、また自分たちの団体にとってもメンバーの誰が入ってもわかりやすく動きやすくなるよう、体制と仕組みづくりも強化していきたい。2 年目を迎えている「こよりどうカフェ」との連携も強化し、例えばイベントへの出店の際には、両カフェの

お惣菜販売を同時に行うなど、カフェメニューの2店舗連動企画などにも昨年同様に力を入れたい。今年度はこまちカフェの現店舗での10周年となるため、そのイベントも盛り上げたい。Instagramや、twitter、LINE、動画配信などにもより力を入れ、まだこまちカフェを知らない方へのアプローチも引き続き行う。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：11名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ9,000名程度
- ・支出：12,986,934円

2. こよりどうカフェ

- ・内容：【概要】「こまちカフェ」姉妹店として、善了寺境内にオープン。こまちカフェ同様に、子育て中の方々が気軽に利用できるカフェとしての運営をすると共に、お寺の境内であることや敷地内に高齢者の介護施設があること等の立地条件も活かし、多世代が集える場となることを目指す。利用者のみならず運営に携わるボランティアも年齢や障がいの有無を問わず様々な方が関われる場として運営。日祝日を除く毎日（月曜日～土曜日）にて、居場所を運営しながら、近隣の保育園と連携しお惣菜を園に届ける取り組みや、障がいのある方の就労移行支援事業所との連携も進める。また、お惣菜のテイクアウトにも力を入れ、居場所に足を運び過ごすことが難しい方々との接点を作ることに取り組む。

【2024年度取り組み】

○カフェの運営

居場所としてのカフェの運営を安定して行うことをスタッフと常に考えながら、多様な世代の利用に柔軟に対応できるようなカフェを作っていく。常に、何を大事にしたいのか、どんなカフェを作っていきたいのかなどスタッフとも考え作っていききたい。ランチやカフェのメニューについても食材などの仕入れや、組み合わせ、メニュー開発など、こよりどうカフェならではのものをスタッフとの話し合いの上取り入れていく。

○テイクアウト事業

お惣菜のお届けやお弁当お惣菜のテイクアウトについても、ランチの営業や取り回しとの両立体制を整え、多くのニーズに応えられるよう、トライアルと体制整備を進める。

保育園へのお届け事業については、引き続きニーズの調査も実施し、より多くの方に届けられるよう体制も強化し仕組みを整えていく。また近隣の学童などとの連携も行い、保育園以外にもお弁当などのお届けも行っていく。

テイクアウトについても、お惣菜に加えてお弁当やスイーツなど様々なメニューを、子育て世帯のみならず、学生や一人暮らしの高齢者等にも利用いただけるような周知や仕組み、またLINEの導入なども検討する。

○様々な人の関わり・地域連携

お子様連れの方が安心して一息つける場となると共に、子ども達が様々な大人に見守られて育つ機会となるよう見守りボランティアさんのいる体制を整えていく他、学生～ご年配の方々が関われる機会をもつことにも力を入れる。調理補助や片付け等、カフェの様々な業務において随時ボランティアの見学や体験を受け入れながら、継続して関わりたい方には「こまちパートナー登録説明会」を定期的を開催する。スタッフの体制も整え、対応できるスタッフの人数を増やし、関わりを増やしていく。また、近隣の就労移行支援事業所と連携し、障がいのある方の「働く」経験の場として、こよりどうカフェでの実習を継続的に実施し、多様な方々と一緒に作る店舗を目指す。

- ・日時：通年

- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区矢部町
- ・従事者人員：20 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 12,000 名程度
- ・支出：18,569,593 円

3. お菓子部門

- ・内容：【概要】「こまちカフェ」お菓子工房において、クッキーやケーキなど主に焼き菓子を製造し、店頭・オンラインショップ・外部イベント等にて販売。小麦・乳・卵を使わず、アレルギーのある方もない方も一緒に食べることのできる、「心とからだにやさしいお菓子」を開発する。カフェへの来店動機を作るとともに、カフェに足を運べない方にも菓子の配送を通じてこまちカフェとつながる機会を創出する。製造工程や作業を分担するほか、イベント販売に参加するなど、ボランティアやインターンの方、地域の方など多くの方が関わることでできる事業として取り組む。

【2024 年度取り組み】多くの人に関わりながら、手づくりのぬくもりが伝わるお菓子を届けられるよう、引き続き製造作業の効率化と品質・製造量の安定化を図り、関わる人が分かりやすい作業マニュアルの作成や SNS を活用した販促の充実に取り組む。季節や行事に合わせたお菓子・デザートを開発し、カフェの魅力のひとつとして、より多くの方に足を運んでもらえるよう努める。

さらに、カフェでのイベント主催者や地域の企業・店舗とのコラボ企画、フードロス対策など、お菓子から広がる新たな可能性も模索していきたい。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：10 名
- ・受益対象者：区内外の一般市民のべ 2,200 名程度
- ・支出：2,972,997 円

4. 参加のデザイン

- ・内容：【概要】「こまちカフェ」「こよりどうカフェ」を中心としたこまちぶらすの活動において様々な関わりがうまれるよう、参加のきっかけ作りを行う。

【2024 年度取り組み】各事業においてもより一層参加の機会を意識して作っていく。具体的にはパートナー登録会の担当者を増やし、同時にカフェスタッフや、見守りのコーディネートをしているスタッフが登録会からお手伝い当日までフォローしやすい体制をつくっていく。昨年度より開始したキッズパートナー制度をはじめ、子どもや多世代にわたってその方の「好きなこと、得意なこと」で関われる参加の機会をつくっていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：5 名
- ・受益対象者：区内外の一般市民のべ 100 名程度
- ・支出：140,162 円

III. 社会から孤立しがちな当事者・支援する人の学びあい事業

1. 「でこぼこの会」（発達障がいをもつ子どもの親を対象に情報発信・イベント実施）

- ・内容：【概要】毎月 1 回、お子さんの発達に不安を持つ親、支援者、当事者の方が集まり、お話会と依頼した講師による勉強会を交互に開催。

【2024 年度取り組み】2024 年度も、お話会と勉強会を交互に開催。勉強会では、公認心理師による「本田秀夫先生の『学校の中の発達障害』の本を使って」「発達にでこぼこのあるお子さんのための算数の勉強会」「先輩ママのお話を聞く会」を予定。その他「ランチ交流会」や、平日仕事をしている人も参加しやすいよう、「講演会」を休日に開催することを計画している。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：3 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 100 名程度
- ・支出：155,470 円

2. ケアラズカフェ「えんがわ」（子育てと介護を同時に抱える家庭や親の介護等について関心がある家庭向けの事業）

- ・内容：【概要】子育て世代が直面する親の介護について、必要な情報に出会えることや、自身の思いを話し合える場をつくる。

【2024 年度取り組み】2024 年度も「子育ても介護も一人で抱えない」「介護者が自分自身を大切にする」ことを目指して活動する。こまちカフェでの開催のみならず、単発の企画としてこよりどうカフェでの開催やオンラインとのハイブリット等も取り入れながら、ダブルケアの方が必要な情報に出会い、思いを話し合い聞きあえるようなきっかけとなるテーマを取り入れ開催する。また、講演会の実施や SNS の活用により、広くダブルケアについての情報発信をする機会も設ける他、当事者の声を可視化したツール（葉っぱ）についても、新たに声を集めて作成することも検討したい。

- ・日時：通年 月 1 回実施
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：3 名
- ・受益対象者：子育て中の親、介護中の方、高齢者、支援者等、のべ 40 名程度
- ・支出：112,977 円

3. 「～不登校・ひきこもりの親ができること～ほっとひと息金曜日」（不登校・ひきこもり学齢期児童の家族向け事業）

- ・内容：【概要】月 1 回金曜日又は土曜日に、不登校ひきこもり児童・生徒（学齢期）の家族の方がお互いの今の心情を安心して話すことができる場を提供。

【2024 年度取り組み】2024 年度も引き続きお互いの気持ちを共有したり、情報を得たりすることで、自信と元気を取り戻していただける場を提供する。また、SNS 発信や「街のとまり木」の活動を通じて家から出られない親子の外出機会をつくる。市内で親の会を主催している支援者団体「はまおやネット」のネットワークの会や、区内のネットワークの会「ポンテ」にも参加し、地域との連携を深めながら実施する。

- ・日時：4 月 26 日、5 月 24 日、6 月 29 日、7 月 26 日、8 月 23 日、9 月 28 日、10 月 25 日、11 月 22 日、12 月 21 日、1 月 24 日、2 月 28 日、3 月 29 日(10:00～12:00 又は 15:30～17:30)
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：2 名
- ・受益対象者：不登校の児童の親、支援者等のべ 100 名程度
- ・支出：133,306 円

4. 「ただい間のおうち」（不登校・ひきこもり・生きづらさを感じている学齢期児童・生徒の家族向け事業）

- ・内容：【概要】月1回金曜日の夜に、不登校・ひきこもり・生きづらさを感じている児童・生徒（学齢期）の親子が外に出て家族以外の第三者と交流できる場を提供。
【2024年度取り組み】子どもが外に出る第一歩として安心して過ごせる場所を提供する。この場所で自信を取り戻し、次の一歩に進めるよう子どもたちの気持ちや行動に寄り添うことができる場とする。地域の関係機関や、地域の方々、不登校経験者の方など、様々な方に関わっていただけるよう連携を深めながら実施する。
- ・日時：4月19日、5月17日、6月21日、7月19日、8月9日、9月20日、10月18日、11月15日、12月20日、1月17日、2月21日、3月21日(17:30～19:00)
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：4名
- ・受益対象者：不登校の児童の親、支援者等のべ150名程度
- ・支出：184,538円

IV. 社会とつながりたい人が社会で活躍できる場・貢献の場を見出すためのチャレンジ事業

1. 特技を活かし、地域に貢献を考える子育て中の母親に対するサポート事業

- ・内容：【概要】こまちカフェ・こよりどうカフェにて、レンタルスペースの貸出を通して起業支援や情報発信支援、人と人との交流の場の提供を実施。
【2024年度取り組み】こまちカフェ・こよりどうカフェで、ゆるやかに人と人がつながることのできる場として、イベントを開催、また特技や資格を活かしてチャレンジする機会としてレンタルスペースの貸出も行う。
○こまちカフェ：子育て中の母親を中心にイベントをしていることもあり午前中のレンタルスペースが多く活用されていることを踏まえ、今年度も引き続き、より幅広い年代の方が参加できるイベントを午後のレンタルスペースで企画検討し、午前午後ともに沢山の方が利用できるレンタルスペースを目指す。毎月発行しているイベントカレンダーチラシは、こまちカフェに足を運んだことのない方にも手に取って頂けるような紙面づくりを心がけ、幅広い年代の方に情報が届くよう配架場所・掲載方法を工夫していきたい。
○こよりどうカフェ：昨年度、様々なイベントを開催する機会を得た経験を活かし、今年度は定期利用契約者を増やして、こまちカフェのような定期的なイベント開催を目指したい。こよりどうカフェでもチラシを発行し、レンタルスペースの情報発信をしていくことで、イベント開催の周知をしていきたい。
○全体：昨年度開催した契約者同士の交流会を引き続き実施、情報の共有をしながら更なる横のつながりを大切にし、契約者のイベントを開催する上での不安や悩みの解消する場を提供し、共同企画などができるように支援していきたい。また、契約者がレンタルスペースを利用しやすいようレンタルスペース担当者と随時意見交換を行い、カフェに要望があればできる限り改善できるように努めたい。契約手続きなどの契約者（従業員）作業軽減についても引き続き検討し、利用しやすいシステム作りを目指していきたい。昨年度 Instagram を活用しイベントの告知集客の支援を実施したことで大きな集客効果があったため、引き続き、SNSでの情報発信することでイベントを機会に両カフェを訪れる方を増やしていきたい。
- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：5名
- ・受益対象者：起業、教室開催を考えている方及び一般市民等、のべ2,200名程度（オンライン参加者を除く）
- ・支出：1,540,755円

2. 子育て中の母が特技を活かし生きがい及び仲間づくりのために作成した飲食物・手づくり品の販売

- ・内容：【概要】こまちカフェ内スペースにて、子育て中の方を中心とした市民がつくった「手づくり雑貨」を販売。地域の方の外出動機の創出につながり、また、子育て中の方々の得意が活きる場づくりにもつながっている。0か1ではない働き方（自宅にしながら働ける一つのスタイル）の提案の場にもなっている。
- 【2024 年度取り組み】引き続き、年間を通してこまちカフェでの手づくり雑貨展示販売を行い、近隣の方のみならず、遠方の方・家庭やご自身の事情で外出が難しい方にとっても、特技が活かせる場・社会とのつながりを感じられる場となるよう努める。季節ごとの定期的なハンドメイド即売会の開催、契約者同士の交流会も引き続き行う。また、こよりどうカフェの常設販売について取り回しなど事務的な流れを見直し、よりスムーズに対応できるよう整えていく。契約者への清算対応や新規での委託希望者からの問い合わせ対応などについて資料をデータ化することで作業時間の短縮をはかり、契約者への個別対応に時間をさけるよう改善していく予定。
- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：2名
- ・受益対象者：手づくり小物を地域でつくる方及び一般市民等、のべ 1,500 名程度
- ・支出：803,747 円

V. 地域の多様な主体が互いに連携・協働し、コミュニティの活性化を推進するためのコーディネート事業

1. ウェルカムベビープロジェクト

- ・内容【概要】「まち全体で赤ちゃんの誕生をお祝いし子育てを応援する社会」を目指し、出産祝いを地域の人々や企業商店とつくり、届ける事業を実施。2016 年にヤマト運輸株式会社神奈川主管支店との協働で立ち上げ、2018 年から横浜市鶴見区、2020 年から千葉県松戸市でも取り組みが開始。2022 年には茅ヶ崎市でも支部が立ち上げられた。横浜市こども青少年局後援事業。出産祝いの内容は選考会にて4人の選考委員により認定されたものが入っており、申し込みがある世帯へ無料で配布している。（選考会開催は横浜市戸塚区・鶴見区）このプロジェクトの資金は民間財源（協賛金や寄付、自主事業収入）を主としてまかなわれており、行政と連携し実施している。住民や企業商店等様々な人が子育てに関わるきっかけとなるよう設計し、その関わりと連携により新たな 社会インフラ（子育てが豊かになっていくようなコト・モノ・サービス・制度）を生み出していくことも目指している。

【2024 年度取り組み】

[戸塚支部]

○出産祝い部門

2023 年度に行った出産祝いを受け取る家庭の状況分析をもとに、広報活動を行い、出産祝いの受け取り地域や数が増えるよう努める。また、2024 年度は出産祝いを一緒に作ってくださるプレゼントパートナーが16社となり、事務局及びパートナー企業どうしの交流を深め、連携しながら「ウェルカムベビーなまち・社会」に向けて、一緒に取り組んでいただけるように努める。

また、出産祝いを受け取られた方の声を丁寧に取り、パートナー各社とも共有をしながら出産祝いのお届けを継続する。

○産前部門

近隣の産院や施設等への広報協力を相談しながら、「とつかウェルカムベビーLINE」への妊娠中の方の登録が促進するよう取り組む。地域の産院や子育て支援に関わる方と情報交換を行いながら、妊産婦の声を知ることを通して現状を把握し、妊娠中の方のニーズがあるイベントや講座を実施する。

○産後部門

産後の母親が気軽に足を運びゆるやかにつながれる機会として、こまちカフェでのおしゃべり会「ゆるっ

とママカフェ」を月1回開催する他、当プロジェクトのパートナー企業と連携し、外出の機会や子育てに必要な情報を得る機会となるようなイベントも企画、開催する。

○タウンサポーター/ナッピーデー

赤ちゃん連れでまちに出かけやすい場所が増えていくよう、引き続き登録店舗とのコミュニケーションをとりながら「タウンサポーター」の認知度向上に力を入れる。また、毎月7日のナッピーデーに赤ちゃん連れを歓迎するイベントの開催や、寄付ボックスの設置をしてくださる店舗を募る。

[本部]

○支部展開

引き続き、鶴見支部、松戸支部、茅ヶ崎支部との連携と支部間の交流や情報交換に力を入れながら、新たな支部の立ち上げに向けて、関心のありそうな団体や自治体への提案や伴走を進めていく。また、支部の活動が財政的にも継続可能なものとなるよう、仕組みづくりについても検討する。

○パートナー企業・団体との協働

引き続き、プロジェクトを応援いただく協賛のみならず、様々な形で多様な業種の方々にとって「ウェルカムベビーなまち」を目指すことが身近になるよう連携を進めていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市を中心に、全国
- ・従事者人員：5名
- ・受益対象者：戸塚区・鶴見区・松戸市・茅ヶ崎市で生まれた赤ちゃんのご家庭の方、のべ2000名程度
- ・支出：4,478,635円

2. 戸塚宿ほのぼの商和会事務局

- ・内容：【概要】約100会員からなる戸塚の商店会の事務局をつとめる。「こども・高齢者・障がいをもった人も誇りと居場所と出番を感じられる地域」を商店会としてビジョンを持ち、こまちぷらすとしてもその事務局機能を担いながら商店と子育てしやすい環境について考え提案をしていく。

【2024年度の取り組み】今年度はイベントを通して、会員同士をはじめ地域にお住まいの方・在勤の方・学生・会員の顧客やこまちカフェに足を運ばれる方にもお声かけし、交流と参加の機会をつくる。具体的には、商店会を身近に感じ、関わりたくなるような情報発信や投げかけを、SNSや地域サポーター公式LINE等で発信していく。また、より多くの方に商店会の店舗を利用してもらえるよう電子版のプレミアム商品券の運用を行う。他の商店会との連携やホームページ、インスタグラムやYouTubeなどSNSにて情報発信と手渡しできるマップの再編成も行う。また、こまちぷらす内での他事業との連携しながら子育て中の親子がまちを知り、お店につながる機会やイベント参加の機会を創出していく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区
- ・従事者人員：3名
- ・受益対象者：100名
- ・支出：1,338,852円

VI. 孤立しない社会をつくるためのまちづくり・啓発・提言事業

1. 講演やコラム発信等、起業への働きかけを実施

- ・内容：【概要】講演や研修、調査協力、機関誌寄稿等を通じた提言啓発を実施。

【2024年度の取り組み】行政関係者、中間支援、市民団体の方、企業、学生等向けにこまちぷらすの活動やカフェでの実践等について話し、ビジョンの普及啓発に努める。2023年度に引き続き、「カフェ型居場所

の展開」として、他地域や他団体に向けたこまちカフェの運営についての実務講座を実施。さらに、2022年度に取り組んだ「心地よい関わりのある居場所をまちに増やす」ための提言を元に、2023年度に引き続き、居場所を作りたい事業者当事者のみならず、その事業者を支える中間支援団体や関心のある民間企業への働きかけも行い、日本中に「心地よい関わりのある居場所」が増えていくよう努める。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区
- ・従事者人員：6名
- ・受益対象者：500名
- ・支出：2,041,220円